

氏名	服部真理子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	地域看護学/公衆衛生看護学				
学位	修士（保健学）				
学歴	1988年日本赤十字中央短期大学看護学科、1996年聖路加看護大学看護学部(普通)（3年次編入学）、1998年東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程				
経歴	2001年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2004年東京女子医科大学看護学部講師、2015年武蔵野大学看護学部看護学科准教授、2019年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授 現在に至る				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本健康教育学会、日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本地域看護学会、日本行動医学会、日本公衆衛生看護研究会、日本在宅看護学会、日本看護学教育学会、日本公衆衛生看護学会、日本衛生学会、日本健康心身科学学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	Covid-19流行下における映像学習教材を活用した地域・在宅看護学の試み	共同	第26回日本地域看護学会学術集会(於 川崎)	○黒澤恭子,柴田亜希,石崎順子,村松直美, 服部真理子,関美雪	2023.9	
2	Covid-19流行下のセルフコンパッションとレジリエンス、心の健康の関連 ～2回の調査からの考察	共同	第43回日本看護科学学会学術集会(於 山口)	○服部真理子,小谷野康子,金子真理子	2023.12	
3	新型コロナウイルス流行下におけるセルフコンパッションとレジリエンスおよび精神的健康の関連	共同	第43回日本看護科学学会学術集会(於 山口)	○小谷野康子,服部真理子,金子真理子	2023.12	
4	Development of a mental health program using self-compassion	共同	4th Edition of Singapore Nursing Research Conference (Singapore)	○Yasuko Koyano,Yumiko Shimizu, Mariko Hattori, Mariko Kaneko	2024.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)	学際的チームによる住民のメンタルヘルス支援モデル構築に向けたプログラム開発と検証	研究分担者	2020.4-2024.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)	KDBデータベースシステム活用による経年的血糖値変化の類型化と関連要因の検討	研究代表者	2022.4~2025.3		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地域看護学Ⅰ		1	地域看護学の目的と意義や活動基盤の理念を踏まえ、地域で生活する人々を対象に、様々な支援の場（行政・学校・産業・在宅）で展開される地域看護活動について学びと地域における看護職の役割についてオムニバス形式で講義を通して理解を深めた。在宅看護について担当し、地域における高齢者への看護の活動について学生の理解を深めた。
2	地域看護学Ⅱ	○	8	地域で療養生活を送る人々とその家族への看護活動及び保健医療福祉チームの一員としての看護職の役割、健康課題を持つ対象の理解と地域看護活動について講義を通して理解を深めた。科目責任者として講義担当やゲストスピーカーとの調整を行い、学生の地域看護学への理解を促した。
3	公衆衛生看護学		2	公衆衛生看護学の中の災害時の活動について、その定義や機能、健康危機管理と保健師の役割に焦点を当て公衆衛生看護管理2コマを担当し、講義及び演習を通してその理解を促した。
4	広域看護②		4	地域看護学の理論や生活の場の実践方法から健康課題解決の方策を学び、ヘルスプロモーションに基づいた地域看護学の実践方法を探求する科目のうち4コマを担当、学生の関心のあるテーマの文献を取り上げディスカッションを行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地域看護学Ⅲ	○	16	地域包括ケアを支える専門職として看護の視点からのアプローチ方法として日常生活援助技術や医療的ケア、家族支援、継続看護や多職種連携、在宅療養者と家族の看護過程を展開の方法について講義や演習を通して学びを深めた。科目責任者として講義担当やゲストスピーカーとの調整、看護過程展開の運営を行い、学生の地域看護学への理解を促した。
2	地区診断論		15	実習地を事例として健康課題を明確化するためにデータを用いた地区診断の演習、発表会の出席により学生間の学びを共有した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学実習		2023.5-6 5単位	行政・学校・産業における公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解につながる課題を提示、学生間のディスカッションを行い、学びを深めた。
2	総合実習		2023.7 3単位	行政・学校・産業における公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解につながる課題を提示、学生間のディスカッションを行い、学びを深めた。
3	地域看護学実習	○	2023.10～.12 2単位4クール	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解につながる課題を提示、ディスカッションを行った。科目責任者として実習施設との調整、感染症に関する対応を行った。
4	IPW実習		2023.4-10 1単位	IPW実習の目的に沿って、事例の展開に合わせて助言を行い、所属の異なる学生が意見交換をしながら事例を展開、支援方法について検討できるよう支援した。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4-2024.3	主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和5年保健師階層別研修（新任期～中堅前期）	越谷市	キャリアラダーについて（概要編） テーマ「明るく 楽しく 前向きに」	2023.7
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県国民健康保険団体連合会	埼玉県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会委員		2022.4～2024.3
2	さいたま市	さいたま市健康づくり・食育推進協議会 委員		2023.4～2025.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	1年生担任		2023.4-2024.3
2	大学広報活動	オープンカレッジ		2023.5、2024.3
3	大学広報活動	オープンキャンパス		2023.8
4	学科等における委員会等	実習計画調整会		2023.4-2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第43回日本看護科学学会学術集会優秀演題ポスター発表賞（演者）	日本看護科学学会	2023.12	
2	4th Edition of Singapore Nursing Research Conference ベストポスター賞（共著）	Singapore Nursing Research Conference	2024.3	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			